

地域情報誌
2013年12月
(No12)

DE すがね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

復活！ 須金市日



(雨にも関わらずたくさんの方が来場)



(地元食材を使用した加工品が人気)



(須金の歴史紙芝居)



(子供達も楽しんでいます)

悪天候にもかかわらず、多くの人に来場していただき、盛大に開催できたことを、心から感謝いたします。

今回が第3回目ということで、前回よりもパワーアップした内容で楽しんでいただけたかと思えます。まだまだ課題もありますが、今後も、なし・ぶどう祭同様に、賑わいのあるイベントになるよう、工夫していきます。そして、地元の方々には、出店や発表など、いろいろな形でさらに参加していただき、「周南の元気は須金から」とアピールしていきたいと思えます。

実行委員や出店者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

(文/須金市日実行委員会委員長 広実力)

「DEすがね」はパソコンでもご覧いただけます。以下のアドレスへアクセスしてください。

→ 周南市コミュニティ推進連絡協議会ホームページ <http://gokan-furusato.org/community/community.html>

Q1. 小さい頃はどんな子だったですか？

A1. よそ様の畑に勝手に入って野菜やイチゴをいただいたり、金峰川の魚を勝手に釣って朴の岡さんに怒られたりと、やんちゃな子でした（笑）運動は得意でしたよ。

Q2. お仕事は？

A2. 高校を出て、石油会社に6年、塗装会社に10年勤めた後、1級塗装技能士の国家資格を取って、2年前に独立し、広実塗装をはじめました。

Q3. 奥さんの奈未さんとの出会いは？

A3. 塗装会社に勤めていた時の社長が紹介してくれました。あまりの衝撃に、初めて会って2時間後にはプロポーズしていました。（笑）奈未は鹿野生まれで、須々万育ちなんですよ。

Q4. 須金に帰ると決めた理由は何ですか。

A4. 今年の5月に帰ってきましたが、以前から帰ろうと決めていましたし、奈未も賛成してくれていました。須金の50代、60代の先輩のように、楽しんでやんちゃができる須金が好きです。

Q5. 采世(あやと)君が小学1年生になりました。どんな大人に育ててほしいですか？

A5. 人に流されず、自分の思ったことを言える人間になってほしいです。将来、僕と一緒に塗装の仕事をしたいてくれるんですよ。嬉しいです。

Q6. 同じ世代が須金に移り住んでくれていますが、どう思われますか？

A6. 石引さん、須田さん、福本さんと、僕らが知らない新しいことをたくさん知っていて、それがとても刺激になります。みんなで協力して須金をもっと盛り上げていきたいです。

(インタビュー/須金公民館 周山健太郎)

人物紹介 広実力さん（中市）



(ふるさと須金、大好きです)



(イベントでも大活躍！)

亀山八幡宮秋祭りレポート

須金の秋祭りが終わりました。今年は、自分にとってすごく大きなお祭りでした。それは、うちの息子が神子（かんこ）をさせて頂いたからです。自分も子供のころにはさせてもらったのですが、大人になって息子がその御役目を頂いての御興行は全く別の体験でした。一言で「感謝」です。地域の方々に、こうして自分の子供の成長をお祝いして頂くなんで！須金に生まれてよかったなあと、つくづく感じました。

この恩は、これからも地域のお役にたつことで、返していきます。また、息子にもそうなってもらえるよう、育てようと思いました。

(文/福田陽一)



懐かし写真館



須金中学校新校舎の落成祝賀会。風船上げや打上花火もあり盛大に行われました。当時の生徒数は21名でした。撮影年/平成2年4月11日 提供者/須金支所所有

参加者募集！しめ飾り作り教室

▽日 時 平成25年12月21日（土）10：00～（受付開始9：30～、14時終了予定）

▽場 所 須金農村環境改善センター 多目的ホール

▽参加費 300円（保険料、材料代）

▽定 員 50名

▽持参物 昼食、ハサミ、ペンチ等

▽申込先 須金公民館 ☎86-2201

※12月16日（月）までにお申し込みください。



（しめ飾り、昨年の様子）

山口ビジネスメッセ2013レポート

10月25日と26日に、キンビバレッジ周南総合スポーツセンターにおいて、「山口ビジネスメッセ2013」が行われ、須金からも、4つのブースの運営で参加しました。

ひまわり会は、周南市の新しいお土産品“しーしゃんせ”（周南市各地のお菓子の詰め合わせ）の販売。福田フルーツパークは、オリジナルのジャムやタルトの販売。須田浩史さんは、西京銀行主催のソーシャルビジネス（地域創発事業）S1グランプリのプレゼンテーション。そして、大木賢一さんは所属する山口県デザイン協会が行った“徳山ふくのゆるキャラ勝手に総選挙”に作品発表されました。

まちなかのイベントでも、須金の存在感が高まりつつあります。



（ひまわり会の販売風景）



（プレゼンに参加した須田さん）

須金地区主な行事予定

(12～1月)

12月

- 12月 3日 (火) 小学校地域参観日
- 12月 4日 (水) 周南学びの旅推進協議会
設立総会
- 12月 6日 (金) 高齢者ふれあい忘年会
- 12月 7日 (土) やまびこ号
- 12月 8日 (日) ●それーねの日 13時～
●もやいミーティング 14時～
- 12月 9日 (月) コミュニティ理事会
- 12月20日 (金) 小学校持久走大会
- 12月21日 (土) しめ飾り作り教室
- 12月24日 (火) 小学校終業式
- 12月25日 (水) やまびこ号
- 12月29日 (日)、30日 (月) 消防団夜警

1月

- 1月 5日 (日) 消防出初式
- 1月 8日 (水) 小学校始業式
- 1月 9日 (木) 小学校地域参観日
- 1月12日 (日) ●どんど焼き
●大津島・須金広報誌編集委員
交流会
●それーねの日 13時～
- 1月14日 (火) コミュニティ理事会

須金せせらぎ短歌会 ～今月の一首～

青空に飛行機雲の音も無く
延びて夕日に煌(きらめ)きており
村木美津江

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。
須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

(第12回)

鳥になろうとした男 三家本鶴蔵

文 高橋 勝己

明治の末、27歳の鶴蔵は鳥の羽根を拡大した翼を竹皮でつくり、歯車で動かす機械を考案しました。そして峰畑から向いの田原集落へ飛ぼうと計画し、その機械を身に付け庭先の石垣から飛びましたが一寸も飛べず、落ちて失敗しました。

空を飛ぶことはできませんでしたが、大工の子として生まれた鶴蔵は、もともと手先が器用で、いろいろと工夫して物を作ることが好きでした。特に鶴蔵が作った唐箕(とうみ)は、動きが軽やかでとても人気があったそうです。また、大正天皇が即位した折には秘密尾の奥ノ院にこもり、三週間の行をした後に、天皇に献上するための笏(しゃく)を作りました。大正4年には宮内省から表彰されたそうです。



とうみ

しゃく

写真：鶴蔵が作った唐箕と宝剣を忍ばせた笏

編集後記

朝晩寒くなりましたね。そういえば、熊が農園の箱罾に捕まりました！熊も寒くなる前にしっかり腹ごしらえしよう、と山から下りて来たのですかね。それでは皆様良いお年を。(福田陽一)